・児童教:672名 学級教:20学級 (令和元年10月15日現在)
・大森第二小学校と大森第六小学校が統合して「開桜小学校」となり、今年度開校18周年を迎える。
・行事・や学習を通して、地域に開かれ、共に歩む学校を目指し、地域の特性を生かした教育活動を行っている。(町工場・商店街・こらぼ大森の見学、内川学習、海苔つけ体験、稚魚放流体験、外国人留学生との交流、キャリア教育、園芸・誘達者ボランティアとの活動等)
・今年度は「わかる・できるを目指した授業」をテーマに、国語科の「書くこと」をとおして研究に取り組んでいる。
・東京都教育委員会のコオーディネーショントレーニング地域拠点をとして、研修・実践・公開に取り組んでいる。
・ 東京都教育委員会のコオーディネーショントレーニング地域拠点をとして、研修・実践・公開に取り組んでいる。

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果 評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄コメント
プラン1 未来社会を創造的に生	れからの社会の変化に対なかる子どもの力と自信を	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。 学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。 体カテストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	A4:「学校は楽しい」とアンケートで回答した児童の割合が90%以上。 B4:「自分の考えを伝えたり、様々な違いを尊重したりできる子供に育っている」とアンケートで回答した保護者の割合が90%以上。 B3:80%以上。 B2:70%以上。 B2:70%以上。 A1:70%未満。	A4 B3	□アンケート回答数 児童(666名)・保護者(638名) ◇一人一人の児童にとって楽しい 学校になることが、創造のな子 供の育成につながると考え、 ・学習がわかる・できる ・友達とのかかわりが楽しい ・力をつける指導 を必要3要素として取り組んだ。 ◇学習したことや体験したことを異 学年に発表時間の充実に努めた。 ◇アスリート、障がい者、高齢者、 外国人留学生、地域住民等とか かわつたり、友達と話し合ったり する活動を行った。	・学校長の経営目標である「児童にとって楽しい学校」ということが子供たちにとって一番大切だと思う。その目標が達成されていることは素晴らしい。 ・学校評価保護者アンケートの回答率が高くて素晴らしい。これは、先生方が熱心に取り組み、努力しているからだと思う。 ・先生、児童、保護者のコミュニケーションが図れているので教育活動が充実したものになっていると思う。 ・オリンピック選手を紹介していると思う。 ・オリンピック選手を招待しての大学では、アイルちにとって大変貴重な学習の機会となっていて、良い取組だと思う。 ・しなやかに対応できる子供に育てることは大切なことだと
	身に付けます。	かかわる力の育成を重点目標とした異学 年交流学習やたて割り活動等を実施す る。	B1:70%未満。 A4:当該学年の四則計算		◎すべての学習の中で、自分なりの考えをもつことができ、表現する(書く:話す・聞く)活動をさらに工夫していく。	思う。相手の話をよく聞くことができることが大事だと思う ので、今後もコミュニケーションの力を伸ばすような指導を お願いしたい。
プラン2 学力の向上	児童・生徒一 人びとりの高 め、意欲かなな かを定 力ます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。 算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	の定着度及び漢字検定の 合格率が85%以上。 B4:「子供は基礎学力が身 についている」とアンケート で回答した保護者の割合が 90%以上。	A2 B3	◇基礎的・基本的な内容の定着を 図るため、ICTの積極的活用や週 1回の放課後補習、学力向上ウィ 一クを毎学期末、漢検チャレンジ ウィークを年2回設定した。 ◇授業改善推進プランの確実な実	 学校公開等で児童の様子を参観すると、とても落ち着いて 学習に取り組んでいると感じる。 ・先生方の授業がとても明るく熱心なことに感心する。 今後も期待している。 ・学習スタンダードを意識した授業づくりに、これからも力を
		学習指導講師等による算数·数学·英語の 補習を実施する。	A3:80%以上。 B3:80%以上。 A2:70%以上。		施を目指す毎月のチェックリストの継続と、「開桜小学習スタンダード」の徹底に取り組んだ。 ◇毎週の読書タイムや各学期に開桜小読書週間を設定したり、図書コーナーを特別したりして、読書活動を推進した。	注いでほしい。やはり、学習規律の定着は大切だと思うので、引き続き指導をし、子供たちに習慣づけることができれば、更なる学力の向上が期待できると思う。 -ICTの活用が積極的になされており、授業での視覚的効果を感じることができた。今後も、効果的に活用して、児童の学習意必を向上させてほしい。
		授業改善推進プランを、授業に生かす。 開桜小学習スタンダード(学習規律・学習 用具)の定着を図るための指導を徹底す	B2:70%以上。 A1:70%未満。 B1:70%未満。		◎ねらいと主発問を明確にした授業実践の積み重ねと、1単位時間の中で前時までの学習内容を確認したり、本時の学習を振り返ったりする活動を工夫して設定していく。	 本好きの子供たちが減ってきている中で、学校で読書タイルや読書週間を設定していることは、とても良い取り組みだと思う。 なかなか四則計算の定着や漢字の定着等が難しいと思う。 復習を大切にすることを継続してほしいと思う。
プラン3 豊かな心の育成	子とや感感る自ををど希豊ぐといい。など他尊育、望かみは一貫己をに生すす来満心する。またはます。とのままになまがある。のでは、一様では、一様では、一様では、一様では、一様では、一様では、一様では、一様	る。 小中一貫による教育の視点に立った生活 指導の充実により、社会のルールや学校 のきまりなどを守ろうとする意識を高める。 道徳教育推進教師を講師とした研修や、 国、都及び区の資料を活用した授業等を 行う等道徳指導充実のための取組を行 う。	A4:開桜小生活スタンダードの定着度が90%以上。 B4:「一人一人を大切にした教育が行われている」とアンケートで回答した保護者の割合が90%以上。	A3 B4	正常に取り組んが。では、保後を児童が具体的にイメージでき、自己評価する挨拶検定の取組を始めたり、挨拶当番をたてわり班で行ったりして、すすんで挨拶しようとする意欲の向上を図った。 ◇道徳では、意見が分かれる題材を取り上げたり、対話を通して考えを深める授業展開を工夫したりした。 ◇毎学期の児童アンケートと個人面談をもとに、いじめや不登校の未然防止と早期発見に努めた。。個別支援について毎月の教育相談応した。 ③保護者から「一人一人を大切にした教育的でわれている」と評価は、本本教育が行われている」と評価は、サースの教育が行われている」と評価は、サースの教育が行われている」と評価は、サースの教育が行われている」と評価は、サースの教育が行われている」と評価は、サースの教育が行われている」と評価は、サースの教育が行われている」と評価は、サースの教育が行われている。 ・豊かな心、他者を尊重する心、・豊かな心、他者を尊重する心、・豊かな心、他者を尊重する心、・	・挨拶指導に力を入れているのはとても大切だと思う。 挨拶は、人と人との関わりを深めるための基本だと思うの で、 今後も継続してほしい。
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。 学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	A3:80%以上。 B3:80%以上。 A2:70%以上。 B2:70%以上。			・学年によって課題は様々だと思うが、自己肯定感を高めたり、 他者を尊重できる心を育ててほしいと思う。 ・問題行動、不登校等、学校には様々な子供たちが在籍してお り、個別の対応が必要だと思うが、先生方が丁寧に対応し
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。 開桜小生活スタンダードの定着を図るための指導を徹底する。特に挨拶と廊下歩行を最重点項目として、工夫して取り組む。	A1:70%未満。 B1:70%未満。			
増力 進の	スしや、定ができた。 おいま は できまれる できまれる できまれる できまれる できまれる できない は いっぱい はい	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。 給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	A4:「運動することが好きである」とアンケートで回答した児童の割合が90%以上 B4:「健康教育の取組を推進している」とアンケートで回答した保護者の割合が90%以上。	A2 B4	◇コオーディネーショントレーニング地域拠点をとなり、教養学や体育研会に積極的に取り入れた。 ◇これまでのマラソン週間等の取組を見直し、〇〇系運動月間として体育授業の中で重容の充実を図った。 ◇健康教育は、好評だった外部講師を招いた学習を継続した。保護者に記述していただくカードの活用や保健学習の公開を通して家庭への啓発も確実に進めることができた。 ③生活の中ですする依を考える。運動の習慣化について家庭との連携をさらに強化してい、。	・今は、子供が外で思い切り体を動かす場所も機会もなくなってといる。学校では、晴天の日は必ず外で運動するようにたいものだと思う。 ・休み時間も子供たちと一緒に体を動かしている先生を見かけ、嬉しく思う。遊びの中から、運動をすることの楽しさを子供がに味わってほしいと思う。 ・コオーディネーショントレーニングは興味深い。今年度のみ取組にするのではなく、今後も継続してほしい。 ・学年によって、体力的成長にも変化が出てくると思う。学年応じた体育的活動を今後も工夫し、実践してもらえたらと思う。 ・学級担任に加え、養護教諭や校医さんが関わって行ってし授業もあり、体育・保健授業が充実していると感じる。
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。 健康チャレンジ月間(年3回)や他機関と連携した保健指導、歯磨き指導、学校保健員会等の取組を通して健康教育を推進する。	B3:80%以上。 A2:70%以上。 B2:70%以上。 A1:70%未満。 B1:70%未満。			
プラン5 魅力ある教育環境づくり	児童・生徒が 安全・安活を 学校るため指と 員の上と環境 な教ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業 改善に生かす。 授業改善セミナー等の研修成果を生かし、 主任教諭が助言・支援を行う校内研修等 を実施LOJTを充実させる。	A4:「授業が楽しくわかりやすい」とアンケートで回答した児童の割合が90%以上 B4:「学習活動を工夫して、わかりやすく教えている」とアンケートで回答した保護者の割合が90%以上。	В4	◇校内研究をはじめ、授業改善推進プランに基づく授業観察や教員同士が授業を見合うペア研修を行い、授業改善に取り組んだ。◇学習や行事にICT機器を積極的に活用して効果的な指導法を積み重ねた。	・先生方の日々の努力で授業が楽しくて、分かりやすいものなっていると感じる。今後も授業力を高めてほしい。 ・「書くこと」を熱心に指導してただいたことで、中学校に進学た あとも安心できる。中学校でのレポート作成や、高校受験と 書く力は今後、様々な場面でとても役立つと思うので、小島校
		各種研究発表会等の研究・研修の成果 を、自身の授業改善に生かす。 校内委員会等を確実に実施し、学校にお	A3:80%以上。 B3:80%以上。 A2:70%以上。 B2:70%以上。		◇若手教員の育成と主任教諭の 意識向上を目指した開桜未来塾 を定期開催した。 ◇特別支援教育に関する校内委 員会の回数を増やし、情報及び 指導法の共有化の充実を図った。	で指導してくれて有り難い。 ・ICT機器の活用は、授業が分かりやすくなり、とても良いと思う。 その機器を使いこなしている先生方の様子を見て、感心する。 ・若い先生が増えてきている中で、校内で研修がなされている
		ける特別支援教育を推進する。 校内研究「わかる・できるを目指した授業」 及び各種校内研修をもとに、授業改善に 努める。	A1:70%未満。 B1:70%未満。		◎今年度の取組を継続することを基本とし、状況を見て優先課題を判断し、時機を逸することなく取組を行っていく。	ことはとても良いと思う。先生方のチームワークも高めて、若い先生が力をつけてくれると嬉しい。 ・特別支援教育も充実していて、個々に応じた指導が充実しいると感じる。
となってともに進い6 学校・家庭	連携を深め、	教育目標・学校経営方針・学校評価等の 基本情報、児童・生徒の活動情報等を ホームページ等で公開及び更新すること により、積極的に情報を発信する。 地域教育連絡協議会において、児童・生 徒の変容等の具体的な資料を作成して、 評価に必要な学校の情報を適切に提供 し、適正な評価を受けるよう努める。 学校支援地域本部と連携するなどして、地 域力を生かした特色ある教育活動を実践 する。	A4:「学校は積極的に情報発信している」とアンケートで回答した保護者の割合が95%以上。 B4:「地域や外部人材を活用した学習を推進している」と回答した保護者の割合が95%以上。 A3:90%以上。 B3:90%以上。 A2:80%以上。	A4 B3	◇「地域に開かれた学校」の高い評価の維持を目指し、各種便りやホームページ、緊急メール等での情報発信に努めるとともに、様々なじた。今地域教育連絡協議会を学校公開等を実施する日に開催し、活動する児童や保護者参観の様子を見ていただき意見を求めるようにした。◇スクールサポートや各ボランティアの協力により、地域力を生かした様々な体験や交流活動を行うことができた。	*児里、教師、家庭、三有間の連携を図ることはとしも人切ある。学校の様子を手紙やホームページ等で家庭や地域 定期的に紹介しているので、学校での子供たちの様子や 学校行事や様々な取組がわかり、有り難い。 ・昔に比べて、ホームページやメールなど、とても便利になっ きており、児童も保護者も恵まれていると思う。その分、先 方 の負担も大きいのではと心配になる。 ・大きな行事や学校公開などに多くの保護者が来校している 学校と家庭の繋がりが感じられる。 ・地域ボランティアやPTAの活動が充実していて、子供たちに とってとても良い教育がされていると思う。
める数育 がしずが	子どもを育て る仕組みを作 ります。	保護者と連携した学習、授業公開後の保護者会、個人面談(年2回)等を実施し、家庭との連携の充実を図る。	B2:80%以上。 A1:80%未満。 B1:80%未満。		◎PTA・地域の協力に感謝するとともに、さらに学校が地域連携の核となるように努める。新たな取組の可能性を求めていく。	・保護者アンケートの提出率が高く、その中で、学校に対して 肯定的な見方をしている割合が大変高いのは素晴らしい。 と。 積極的な情報発信に努めてきたことによる効果が大きい。 なかなか学校に足を運べない保護者にとっては、ホームへ